

日本で実施されているロタワクチンには2種類あります。第2世代のロタテックワクチンとロタリックスワクチンです。当院ではヒトロタウイルスとウシロタウイルスの遺伝子が組み換わった、リアソータントにより作成されたロタテックワクチンを使用しています。

第1世代のロタワクチンは今から約20前にアメリカで開発され、接種が開始されました。効果は高かったのですが、約10000人に1人の割合で腸重積を発症したため一旦中止となりました。その後、ワクチンの改良と接種年齢を乳児期早期にすることにより、腸重積の発生頻度はかなり低減されました。しかし、本剤の接種後に腸重積症を示唆する症状（腹痛、反復性の嘔吐、[血便排泄](#)、腹部膨満感、高熱）を呈した場合には速やかに医師の診察・休日夜間であれば[急病センター](#)の診察を受けるようして下さい。

接種開始年齢は15週未満(14週6日まで)までに1回目の接種を終了して下さい。
この時期を過ぎると接種は出来ません。

その後は4週以上の間隔をおいて32週齢までに3回経口接種を受けて下さい。